

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

おれんじ はつくら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			看護師 5 月から復職し常時 2 名体制
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか		○		事業所の周囲。段差はないが舗 装が悪い箇所がある
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	○			定期的な会議を開催し、急を要するも のには臨時に話し合いを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	○			完全にできてはいないが、アンケート の意見を参考に必要順位をつけ取り 組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	○			当法人のホームページで公表してい る。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか				現時点では第三者評価を実施してい ないことを重要事項説明書に記載し ている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○			事業所全体で 2 ヶ月に 1 回研修を開催 している
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントや見学、お試しの利用等 を踏まえて職員間で話し合い作成し ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内で標準化されたアセスメント とシートに加え、個々の体調等に合わ せられる様項目を追加している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員でアイデアをだしながら計画 している。子どもたちの体調で変更す る場合もある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか		○		固定化しないようにはしていきたい が難しいこともある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇と環境設定等違いがあ るので、子どもたち個々に合わせた課 題を設定して支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	○			個別活動は子どもの特性に合わせて 作成している。集団活動は職員を介し ながら同じ空間を作り感じていける ようにということを取り入れ作成し ている。

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		職員間では打ち合わせまでとはいかないが、連絡事項、重要事項は必ず伝えている。(連絡ノート有) 特別にいつもと違う場合は個別に職員に声をかけることもある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		毎日とはできていないが、支援の振り返り、気づいた点はなるべく1日2日のうちに共有解決するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後記録をとっている。1ヶ月毎モニタリングを行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			1ヶ月に1度モニタリングを行い、職員全員に目を通してもらい、見直すところは話し合い個別支援計画に反映させている。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		利用者様の特性、状況に合わせ、創作活動、調理は行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に他の職員への聞き取り、対応の方法の確認をし、児童発達支援管理責任者が出席。終了後、職員への報告をしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本学校の予定は保護者からいただくことになっている。連絡調整等は適切に行えている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療ケアを行う際は指示書をいただきケアを行っているが、その後は主治医と直接連絡を取ってはいない。気になっていることは保護者に連絡を取ってもらっている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援専門員を介しお話を聞いたり、必要であれば直接伺い、お話を聞く時間を持ってもらっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		同じ法人内の生活介護事業所、就労支援B型を利用している方の情報は提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	中西部地区発達障害者支援センターがあるので、必要であれば連携を図っていききたい。研修等にも参加していききたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか			○	接点がない為交流を設定していない。

関係機関や保護者との連携	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		今年度は島田市の放課後等デイサービス連絡会に参加する予定。(まだ開催されていない。)島田市の重心部会の部会長、志太榛原圏域の重心部会にも参加している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		次週の予定をメールで連絡している。必要なことはメールや電話、送迎時に直接お話することもある。日々の様子は連絡ノートでやりとりをすることもある。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者にも寄り添い、一緒に解決していこうという姿勢、や助言等は行っている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		保護者様には契約時に十分な時間を設けていただき、説明をさせていただいている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		半年に1回面談を行い、様子や要望悩み事等伺っている。送迎時にも顔を合わせることもあるのでその都度助言を行うようにしている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	当事業所に保護者会はない。法人内の放課後等デイサービスと合同で保護者対象の勉強会を行った。コロナ禍前は、地域の保護者の会のお手伝いとして参加させてもらうことがあった。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者への周知は契約時に説明するとともに、事業所の目のつく場所に苦情受付、相談についてのチラシを掲示している。法人の苦情解決に関する規定に則り誠意を持って対応する。
	㉗	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1度広報誌を発行し、活動の様子や行事等お知らせをしている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○		細心の注意を払い扱っている。職員には、雇用時に誓約書を提出してもらい順守してもらっている。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	わかりやすくそれぞれに適した方法で伝達を行っている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか			○

非常時の対応

③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者様には契約時にマニュアルの説明を行っているが、伝えきれていないこともある為、整備していきたい。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間2回実施している。避難訓練時に通所している子ども対象になってしまう。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内に昨年度より虐待防止委員会を設置し、年1回研修を行っている。 (前回はR5年3月に実施)
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の原則について研修などを通じ職員への理解を図っている。令和4年4月よりリスク対応表にて、身体拘束を止むを得ず行わなければならない利用者については保護者様への説明、承諾を得ている。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		家族からアレルギーの有無を聞き対応している。主治医のアレルギーの診断書を頂くこともある。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			些細な気づきでも共有できるようにしている。